

名 称	第21回環境・都市計画講習会『グリーンインフラとその導入にあたっての課題』		
実施日	令和2年11月19日(木)	実施場所	建設コンサルタンツ協会関東支部 会議室
参加者数	72名(会員50名(31社)、非会員0名(0社)、委員会事務局22名)		

### 実施目的

環境専門委員会、都市計画専門委員会では、建設コンサルタンツ協会関東支部に所属する技術者を対象に、環境分野と技術・話題の親和性が高いまちづくりの視点から様々なテーマで講習会を平成11年度よりその時々をテーマとした講習会を開催している。

本年度の講習会のテーマは、近年、その活用や導入が顕著になりつつある「グリーンインフラ」に着目し、まちづくりを検討していく過程や環境影響評価や事業の地元貢献のアピールとして用いるための事例や取り組み方などを紹介していくことで、技術者としての知識・技術力の向上や情報の共有などを目的としている。

### 実施概要

#### 1. 開催概要

本講習会は令和2年11月19日(木)13時半～17時に右のプログラムに従い、関東支部所有のZOOMミーティングを活用したオンラインにて開催(受講料1,000円(振込手数料別))した。

講習会では、環境専門委員会の委員によるガイダンスを手始めに、民間企業及び大学から招いた講師から、まちづくりを検討していく過程においてグリーンインフラ導入による防災、減災の効果や地域の魅力向上などのほか、インフラ導入によるインパクトをプラスにとらえた環境影響評価の取り組み方などについて講演を実施いただいた。また、講演後には、聴講者からZOOMチャット機能を利用した質問事項を踏まえ、受付委員会の各代表とディスカッションによる意見交換を行った。

13:00～	受付 (ZOOM会議室ログイン)
13:30～13:40	開会挨拶/講習会ルール説明: (一社)建設コンサルタンツ協会 関東支部 都市計画専門委員長 岡田 寛
13:40～14:00	ガイダンス:「グリーンインフラとは」 藤建設技術研究所 東京本社 環境部 技師長 渡邊 敬史
14:00～14:50	講演Ⅰ「都心再開発におけるグリーンインフラの導入事例」 (株)西武プロパティーズ 執行役員 妹尾 寛仁 氏
休憩 10分 (14:50～15:00)	
15:00～15:50	講演Ⅱ「アセス制度からみたグリーンインフラと、ポジティブアセスへの活用」 桜美林大学教授 片谷 孝孝 氏
休憩 10分 (15:50～16:00)	
16:00～16:50	ディスカッション (ZOOMのチャット機能を利用した意見交換)
16:50～	閉会挨拶:講習会実行委員長 石黒 賢一

#### 2. 当日の運営

本講習会は建設コンサルタンツ協会関東支部管内で2度目のオンライン開催であった。前例での反省点を踏まえながら、支部事務局と事前に入念な打合せや予行演習を経て当日に臨んだ。

また、今回は前述したとおりZOOMチャット機能を利用した質問を受け付け、ディスカッション時の話題として利用する取り組みを初めて行った。

#### 3. 講習会

##### ①ガイダンス

講演では、グリーンインフラの定義紹介とともに、国内外のグリーンインフラの動向を中心に紹介した。

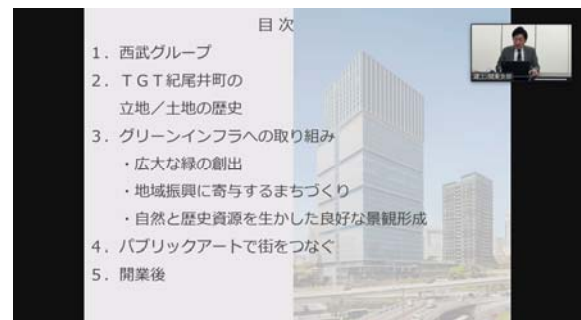
さらに、国内の事例として河川整備、治水、雨水浸透等の導入事例にてグリーンインフラのイメージ、街路樹の更新や下水・農業の連携状況の事例でどのような考え方で検討を進めていけばよいのかなどを紹介した。



##### ②講演Ⅰ

講演では、東京ガーデンテラス紀尾井町でのグリーンインフラ導入実績について紹介いただいた。広大な緑の創出、地域振興に寄与するまちづくり、自然と歴史資源を生かした良好な景観形成がコンセプトになっており、特に緑化率45%を誇る緑地には、既存樹木約200本を現位置保存・移植されたとの報告があった。

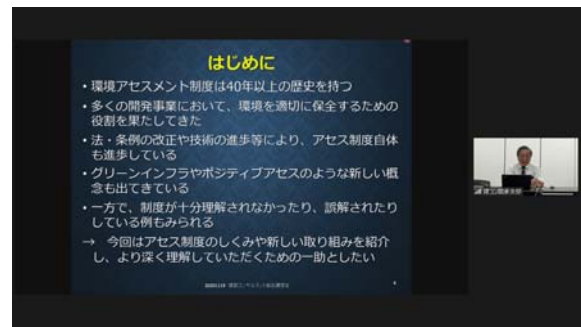
開業後もビオトープにおいてホテルの再生や自然観察会を催すなどにより地域とのつながりも重視されているとのことであった。



### ③講演Ⅱ

講演では、アセスメント制度そのものが事業者、行政、住民の環境保全に関する意思疎通や情報共有のための制度であり、相互の理解を深めることに役立つツールであり、そこにポジティブアセスを盛り込むことで、事業に対する理解がより深まることになる」と主張された。

今後は、グリーンインフラがポジティブアセスの典型的な題材になり、それが浸透していくことで、建設事業とアセスメント制度の共生が成り立っていくとされた。



### ④ディスカッション

講習内容を踏まえ、a)実際にグリーンインフラの導入したことによるメリット・デメリット、b)グリーンインフラの導入を都市マスタープランや地区計画等の上位計画に位置付けようとする動向や、導入された場合の民間事業における制約、c)地元との意見交換の状況、d)ポジティブアセスを行いつらい状況の改善などについて、意見交換を行った。



### 4. アンケート結果

講習会の内容について、「大変有意義であった」、「ある程度有意義であった」との回答が94.3%であったことから、本講習会の内容は会員サービスとして十分に役立つものであったと評価する。

また、次回以降の開催方法について、会場開催、オンライン開催のいずれかの設問に対しては、90.1%以上がオンライン開催を希望するとの回答であった。